

今、聞きたい「？」→「！」

学力向上Q&A

教えて！先生

今回は広報部部会委員の
高山小：柴田、五小：高井が
五小主幹教諭の森賀先生に
インタビューしました。



Q. 学園研究で学力向上の取り組みをしている教科などを教えてください。

A. 国語、算数・数学、英語・外国語活動、体育、道徳、総合、教育支援です。

Q. 今年度の学力向上の取り組みは、昨年度とどう違うのでしょうか？

A. 今年度は**新学習指導要領の完全実施**に伴い、**低学年で授業時数が昨年度より増えています**。また、昨年度との違いではないですが、学年全体で文科省よりでている標準授業時数よりは、平均で20～30時間は授業時数を多く取っています。

あとは今年度の新しい取り組みとして、**アップタイム**を毎週木曜日に行っています。全員にしっかりとその週の学習内容を身につけさせようという事で行っています。

Q. 今年度は新学習指導要領が完全実施されているのですね。また、三鷹の森学園では研究授業もたくさん行われているようですね？

A. 今年度は**各教科の教科書が変わった**ので、学習指導計画のカリキュラムの内容を変更しています。

また、1学期末に各教科についての理解度アンケートを児童に実施し、その結果や都や市の学力調査の結果を授業改善プランに反映させ、指導の改善に活かしています。

研究授業は、**学園研究(7教科)**と**校内研究(1教科)**の二本立てで行い、**教員の授業力向上による学力の向上を目指しています**。五小の校内研究は昨年度までは算数でしたが、今年度は体育をやっています。

Q. 学力向上の結果を出すために家庭では何をすればよいでしょうか？

A. まず、**家庭での学習習慣の確立**が大切だと考えています。時間にすると、校長先生が全校朝会で『**10分×学年+20分**』と子供たちに話されました。さらに毎日決まった時間に学習に取り組む習慣がつくとよいです。学習の内容としては、その日に出た宿題、そして余裕があれば何か必要だと思えることをさせるとよいでしょう。例えば**読書や音読**。あとは、言語活動の基礎である**言葉のやりとり(家庭内での会話)**を重視して欲しいと思います。それら学習習慣を身に付けさせるためには、**テレビやゲームの時間を制限**することや家族で読書をする時間を設けるなど各家庭での工夫が大切だと思います。

Q. 各家庭は学力が向上したことをどこで判断すればいいですか？小学校の「あゆみ」では「できる」の幅が広く、学力が向上したことがわかりづらいと感じます。家庭で確認できる方法がありますか？

A. **学力**とは、「**知識・理解**」だけでなく、「**関心・意欲**」や「**思考・判断・表現**」なども含まれています。そのため、学習の様々な場面でこれらの学力は伸びているし、力が発揮されています。もちろん「あゆみ」の成績評価にも表れますし、**担任からの所見**にも表れます。また、家庭で確認できることとしては、**児童の学習ノートや作文や新聞等の作品の内容**を熟読していただくと、伸びがわかると思います。また、上の学年では、都や市の学力テストを行っているので、学力テストの結果も参考になると思います。ただ、急に大きく向上するものばかりではないので、**小さな伸びを認め、励ましていただくとありがたいです**。

・・・インタビューを終えて・・・

『あゆみ』の評価は教員の指導の達成でもあります。」という森賀先生の言葉にもあるように、先生方は子供たち全員を『あゆみ』評価の「できる」(70%以上理解できる)ように日々指導・研究していらっしやるのだと知りました。受け身の親の立場では「よくできる・できる・もう少し」だけで判断しがちでしたが、子供の成長をほめて励ましていくこと、家庭学習の習慣を身につけさせることが必要だと感じました。学力向上とは、学校と家庭との協力があってこそですね！